

時代を聖書で見る(21)

＝すでに終わっている未来＝

- ①2010年:「ティッピングポイント」→社会も教界も質を変え、教界では真理が損なわれている
- ②2011年:「マニフェスト」→諸現象が現れた(マタイ24章;ルカ21章)、鍵となる聖句(イザヤ11:11)
- ③2012年:「デストラクション&アンコントロールラブル」(詩篇83編、エゼキエル38-39章)
- ④私たちの場所は黙示録の第五の封印の直前あたり:クリスチャンの迫害と殉教者の数と祈りが積まれる→ダニエル最後の1週に入り、背教が起こり、荒らす憎むべき者が聖なるところに立つと第六の封印が解かれる
- ⑤終末を生きる鍵:
 - ・神のみ心とひとつであること;神は何を欲せられているのか→花嫁と住まい→究極には新エルサレム!
 - ・霊は至聖所(神殿)、魂は聖所(城壁)、体は外庭(街の外)
 - ・心を守れ、いのちの湧くところ(箴言4:23;14:30)
 - ・あくまでも十字架の事実立つこと;御言葉と十字架・血潮と御霊
- ⑥今後の展望:色分けが明らかになり、篩い分けが進む
 - ・世界はイスラエルを中心とし、霊的にはエクレシアを中心とする(創世記25:23;ルカ11:23)
 - ・カインとアベルの相克がルーツ→バビロン化＝霊的要因×社会的・経済的要因＝バベルの塔の再建＝人の栄光
 - ・私たちの道:自分を否む道＝神のワザと栄光に与る道
 - ・神の約束:エペソ5章;1テサロニケ5:23

神の御旨はイスラエルとエクレシアにある!